



2021年5月14日

各位

住所 静岡市清水区天神二丁目8番1号
 会社名 静甲株式会社
 代表者名 取締役社長 鈴木 恵子
 (JASDAQ・コード番号: 6286)
 問合せ先 専務取締役 鈴木 武夫
 TEL 054-366-1106

特別損失の計上及び通期業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2021年3月期において下記のとおり特別損失を計上するとともに、2020年10月23日に公表いたしました2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の通期連結業績予想と、本日公表の実績値において差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1 特別損失の計上について

このたび、車両関係事業及び冷間鍛造事業並びに不動産等賃貸事業において「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を検討した結果、土地・建物等について14億7千5百万円の減損損失を特別損失として計上することといたしました。

2 2021年3月期通期(2020年4月1日～2021年3月31日)連結業績予想と実績値の差異について

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想(A)	33,000	450	490	280	43.54
実績値(B)	31,666	778	895	△847	△131.72
増減額(B-A)	△1,334	328	405	△1,127	△175.26
増減率(%)	△4.0%	72.9%	82.8%	—	—
(ご参考)前年実績(2020年3月期)	33,328	399	485	268	41.73

3 差異の理由

売上面では、冷間鍛造事業は、電動工具部品が堅調に推移したため予想を上回りました。一方、産業機械事業は、大型案件が延期となったことにより予想を下回りました。また、車両関係事業も、第3四半期に新型車を投入するなど回復基調ではありましたが、第4四半期に発生した半導体不足の影響を受け、予想を下回りました。これらにより、売上高は、前回予想を若干下回りました。

利益面では、販売費及び一般管理費の削減及びIT投資効果により営業利益、経常利益は前回予想を上回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、前述の特別損失の計上により前回予想を大きく下回りました。

以上